

開講科目名 / Course	看護スキルアップ演習	
ターム・学期 / Term・Semester	2024年度 / Academic Year 前期	
開講区分 / semester offered	通年	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	4	
主担当教員 / Main Instructor	石丸 智子	
担当教員名 / Instructor	後藤 成人、石丸 智子、足立 綾、徳丸 由布子、内倉 佑介、荒木 章裕、森崎 久美、妻木 美香、堀 裕子	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	演習	
科目の目的と概要	看護基礎教育の総仕上げとして、人間科学講座と看護系講座の専門科目として学んだ知識、技術を有機的に統合し、根拠に基づくアセスメント能力および適切かつ安全・安楽な看護技術を提供できる実践能力を養う。	
到達目標	1. 医療・保健分野において遭遇しやすい事例を通して、根拠に基づいたアセスメントができる。 2. 検討事例のニーズや状況に合わせて判断し、適切かつ安全・安楽な看護技術が提供できる。 3. ロールプレイによる事例発表会のディスカッションを通じて、グループの発表を適切に評価できる。	
DPとの対応	1.確かな看護の力・技術力、2.看護を遂行するための幅広い知識と観察力・臨床推論能力、マネジメント能力	
授業計画	01. オリエンテーション 02-05.グループワーク：課題事例の看護過程の展開を検討 06-11.グループワーク：課題事例の設問について具体的な看護展開の検討と実施 12-15. 発表会	
その他の授業の工夫	・ 課題事例は、発達段階や健康段階などを考慮した複数の状況を設定し、幅広い領域の学習が可能。 ・ 7~8人のグループ活動により、マネジメント力や多角的な視点での思考力の強化が期待できる。 ・ 上記の担当教員（看護系教員）に加え、人間科学講座の教員も指導担当教員として配置することで科学的視点の強化が期待できる。 ・ グループごとに看護系教員と人間科学講座の教員を指導担当教員として配置することで、指導・相談窓口を明確にしている。	
時間外学修	事前学修：各自が所有するテキストやe-ラーニング（Nursing Skills）などを用いて、課題事例に関連する知識や技術について自己学習する（6h）。 事後学修：演習後にその振り返りを行う。必要に応じて各自撮影録画した資料を活用する（6h）。 課題事例の実施期間は、事例ごとに割り振られた演習室を使用する。但し、土曜・日曜は原則として使用できない。	
評価方法と評価割合	本科目の単位認定は、100%の出席を要件とし、演習参加状況と課題提出で評価を行う。 （1）発表資料及び発表内容：20%、（2）最終レポート：30%、（3）発表会への参加度：20%、（4）グループワークへの参加度：30%	
テキスト	指定しない。各事例に対応した図書を参照すること。	
参考書	指定しない。各事例に対応した図書を参照すること。	
履修する上で必要な要件		
その他	オリエンテーションで資料を配付して詳細な説明を行う。	
教員の実務経験	有・無	有
	内容	石丸智子：病院の看護師 看護系教員12名程度：全員が看護師経験を有する。 人間科学講座の教員5名程度
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容	豊かな看護実践力を活かして、看護技術の原理や科学性の理解を促進させる。 対象に対して安全で安楽な技術の展開を考える示唆を与えながら支援する。	